

**デカフェ・カフェインレス(ゼロ)市場の現状と
ポテンシャル探索調査 2018**

< 報告書 >

2018年7月25日

株式会社富士経済

東京マーケティング本部

監修者:専務取締役本部長 南波佐間 浩

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 19 番 5 号

akebono 日本橋ビル

TEL:03-3664-5821

FAX:03-3661-9514

調査タイトル

デカフェ・カフェインレス（ゼロ）市場の現状とポテンシャル探索調査 2018

調査目的

海外におけるデカフェ需要の拡大の影響や、厚生労働省が2014年に発表した「健康づくりのための睡眠指針2014」の中で就寝前のカフェイン摂取を控えることを推奨するなど、日本でも近年デカフェ・カフェインレス（ゼロ）ニーズは高まりを見せており、商品バリエーションも増加し、市場には多数のアイテムが展開されている。

カフェインを多く含むコーヒー市場や茶市場は、リーフ及びリキッドともに巨大市場であり、潜在的な市場規模は大きく、一部のユーザーの変化でさえ、マーケットの成長性は大きいと想定される。また、スターバックスコーヒーなど一部のコーヒーチェーンにおいてもデカフェメニューが増加しつつあるが、今後は2020年の東京五輪を控え欧米人を中心にインバウンド需要が拡大し、他のコーヒーチェーンにもデカフェメニューが広がる可能性がある。

本調査では、デカフェ・カフェインレス（ゼロ）市場の現在の市場規模に加え、今後の市場拡大の方向性について検証する共に、有望なチャネル戦略、ターゲット戦略についても、参入メーカーの戦略を考慮し検証する。また、将来的なカフェイン除去技術の革新（進化）によって予想される、次なるデカフェの用途拡大を探っていく。

調査項目

A. 総括編

1. 定義
2. 市場規模推移
3. カテゴリー別市場規模推移
4. チャネル別市場規模推移
5. 上位企業シェア推移
6. 市場分析及び今後の可能性

D. リキッドタイプ・嗜好品タイプ企業事例編

1. 伊藤園
2. サントリー食品インターナショナル
3. UCC 上島珈琲
4. 片岡物産
5. 味の素 AGF

B. 品目編(リキッドタイプ)

1. ブレンドティ
2. 麦茶
3. 日本茶
4. 缶コーヒー・リキッドコーヒー

E. コーヒーチェーン企業事例編

1. スターバックスコーヒージャパン
2. ドトールコーヒーショップ
3. タリーズコーヒー

C. 品目編(嗜好品タイプ)

1. インスタントコーヒー
2. レギュラーコーヒー
3. 紅茶
4. 緑茶
5. 麦茶

F. カフェイン除去技術(方法)の革新(進化)編

1. カフェイン除去の方法と特徴
2. 超臨界技術センター
3. キリン

調査期間

2018年6月～2018年7月

調査担当

榊原友美

当レポートの定義

- カフェインを含有していないこと（カフェインゼロ）、ないしカフェインを一定量除去したこと（デカフェ、カフェインレス）を商品名に冠している、ないしパッケージに表記している商品を対象とする。
- 市場集計は、業務用、加工用は対象外とし市販用商品のみを対象とする。
- 医薬品、医薬部外品は対象外とする。
- 販売額、販売箱はメーカー出荷ベースで集計期間は年次1月～12月とする。
- 本資料掲載数値は富士経済が集計・分析した推定値とする。

目次

A. 総括編	2
1. 定義	2
2. 市場規模推移	3
3. カテゴリー別市場規模推移	4
4. チャンネル別市場規模推移	5
5. 上位企業シェア推移	5
6. 市場分析及び今後の可能性	6
B. 品目編（リキッドタイプ）	9
1. ブレンドティ	10
2. 麦茶（リキッドタイプ）	12
3. 日本茶	15
4. コーヒー系飲料	18
C. 品目編（嗜好品タイプ）	
1. インスタントコーヒー	22
2. レギュラーコーヒー	25
3. 紅茶（嗜好品タイプ）	28
4. 緑茶	31
5. 麦茶（嗜好品タイプ）	33
D. リキッドタイプ・嗜好品タイプ企業事例編	
1. 伊藤園	37
2. サントリー食品インターナショナル	40
3. UCC 上島珈琲	43
4. 片岡物産	45
5. 味の素 AGF	47
E. コーヒーチェーン企業事例編	
1. スターバックスコーヒージャパン	50
2. ドトールコーヒーショップ	52
3. タリーズコーヒー	54
F. カフェイン除去技術編	
1. カフェイン除去の方法と特徴	58
2. 超臨界技術センター	60
3. キリン	62

総括編

1. 定義

- カフェインとは、植物に広く含まれる成分のひとつ。大脳皮質を中心に中枢神経を興奮させ、脳幹網様体の賦活系の刺激により知覚を鋭敏にし、精神機能を亢進させる。また脳細動脈に直接作用して脳血管を収縮させ、その抵抗性を増加して脳血流量を減少させる。
- 苦味が特徴で、覚醒作用、血管拡張作用、解熱鎮痛作用、強心作用、利尿作用などがある。
- 過剰摂取の場合、振戦、不整脈、虚脱、めまい、不眠、不安、瞳孔散大といった副作用がみられ、生理機能が低下している高齢者や妊産婦、授乳婦は摂取量に注意が必要とされている。

当資料では、商品名やパッケージにデカフェ、カフェインレス、カフェインゼロであることを表記し、他の商品と比較してカフェイン含有量が少ないことを訴求している商品を対象とする。

<食品のカフェイン含有量>

食品名		カフェイン含有量(100ml)	抽出方法
コーヒ			
茶			
他			

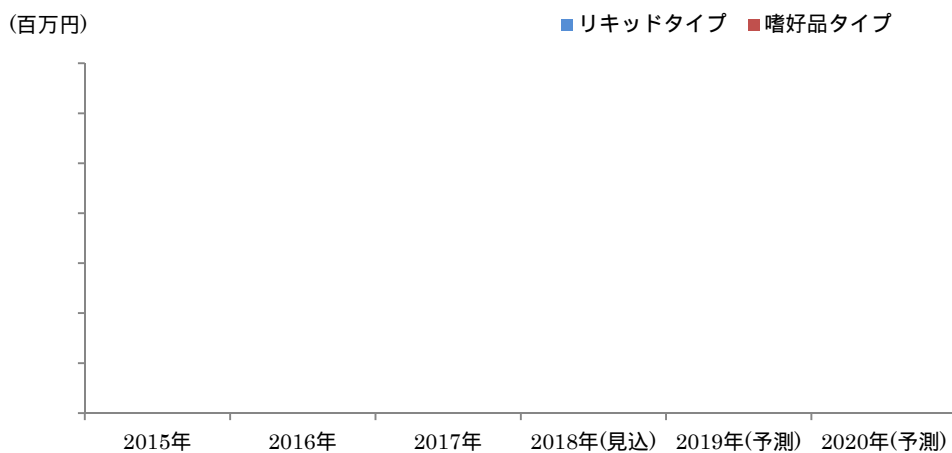
<

>

-
-

2. 市場規模推移

年次	タイプ別	トータル			リキッドタイプ			嗜好品タイプ		
		販売額	対前年比	伸長率	販売額	対前年比	伸長率	販売額	対前年比	伸長率
2015年		百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
2016年										
2017年										
2018年(見込)										
2019年(予測)										
2020年(予測)										



3. カテゴリー別市場規模推移

年次 カテゴリー	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売額 百万円	構成比 %	販売額 百万円	構成比 %	対前年比 %	販売額 百万円	構成比 %	対前年比 %
麦茶(リキッド)								
ブレンドティ(リキッド)								
機能系ドリンク(リキッド)								
その他茶(リキッド)								
日本茶(リキッド)								
麦茶(嗜好品)								
紅茶(リキッド)								
その他茶(嗜好品)								
炭酸飲料(リキッド)								
レギュラーコーヒー(嗜好品)								
コーヒー系飲料(リキッド)								
インスタントコーヒー(嗜好品)								
紅茶(嗜好品)								
緑茶(嗜好品)								
その他飲料(リキッド)								
合計								

4. チャネル別市場規模推移

年次 チャネル	2017年		2018年(見込)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%
通 信 販 売 量 販 店 C V S ド ラ ッ グ ス ト ア そ の 他 合 計					

5. 上位企業シェア推移

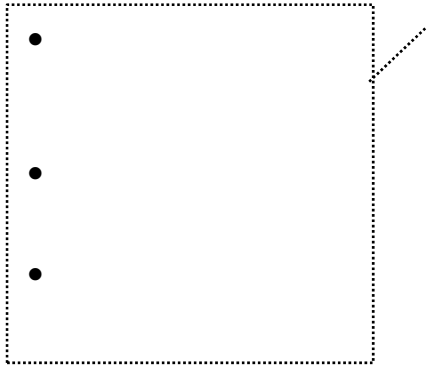
年次 企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
伊 藤 園 コカ・コーラシステム ア サ ヒ 飲 料 サントリー-食品インターナショナル キリンビバレッジ 資 生 堂 ポッカサッポロフード&ビバレッジ は く ば く UCC 上 島 珈 琲 ダ イ ド ー ド リ ン コ ネ ス レ 日 本 そ の 他 合 計								

6. 市場分析及び今後の可能性

1. デカフェ、カフェインレス、ゼロを取り入れるライフスタイルのマス化

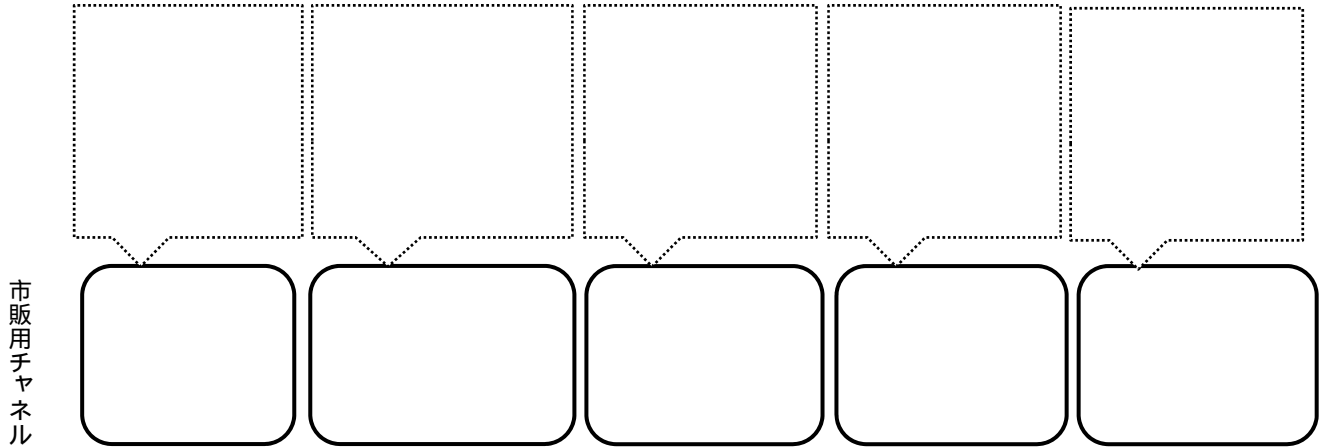
<デカフェ、カフェインレス、ゼロの必要性と現状のユーザー特性>

デカフェ、
カフェインレス、
ゼロの必要性



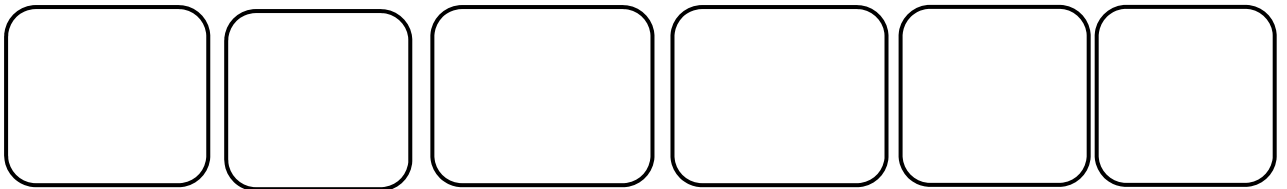
2. デカフェ、カフェインレス、ゼロのチャンネル戦略

<デカフェ、カフェインレス、ゼロの販売チャンネルとの親和性> 購入チャンネルの傾向



画像

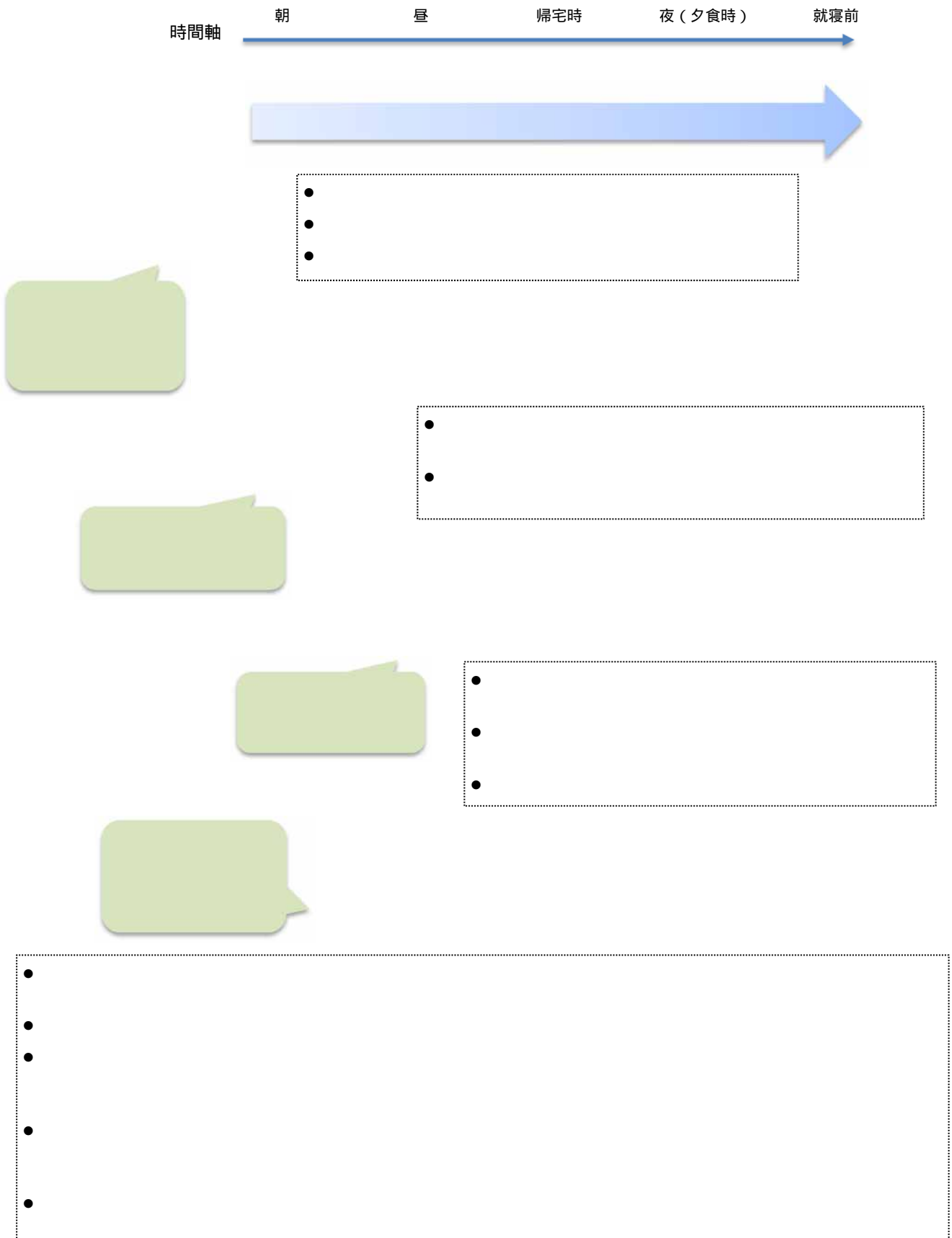
外食用・業務用チャンネル



→ デカフェ、カフェインレス、ゼロの主な購入チャンネル

3. 女性の社会進出、働き方、夜の過ごし方の変化

<デカフェ、カフェインレス、ゼロの飲用時間> 飲料する時間の傾向



B. 品目編（リキッドタイプ）

1

ブレンドティ

1. 定義

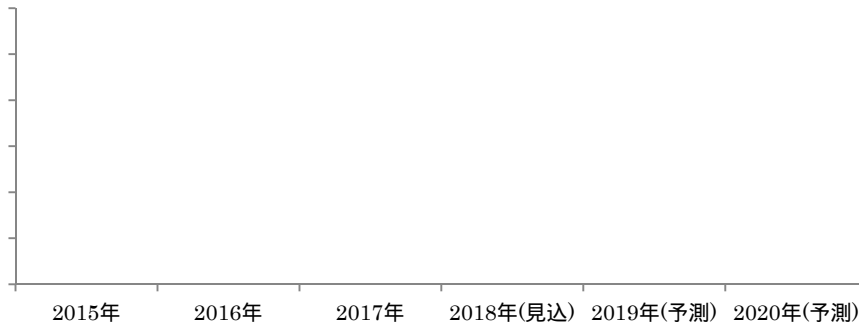
➤ ブレンドティは複数の茶葉や穀類を組み合わせた茶系飲料を対象とする。

2. 市場規模推移

年次	販売箱	対前年比	伸長率	販売高	対前年比	伸長率
2015年	万箱	%	%	百万円	%	%
2016年						
2017年						
2018年(見込)						
2019年(予測)						
2020年(予測)						

(百万円)

■販売高



3. チャンネル別販売規模推移

チャンネル	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
通信販売		百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
量販店									
CVS									
ドラッグストア									
その他									
合計									

4. 上位企業シェア推移

1) 企業シェア

企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
コカ・コーラシステム アサヒ飲料 サントリー-食品インターナショナル その他								
合計								

2) ブランドシェア

企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
爽健美茶 十六茶 特茶 カフェインゼロ 食事と一緒に十六茶 W その他								
合計								

5. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

6. 今後の市場展開

2

麦茶（リキッドタイプ）

1. 定義

- 麦茶のリキッドタイプ商品を対象とし、ティーバッグや粉末商品は対象外とする。
- 2013年発売のサントリー食品インターナショナル「グリーンダ・カ・ラ やさしい麦茶」は成分上ブレンドティであるが、当該市場の対象とする。

2. 市場規模推移

年次	販売箱	対前年比	伸長率	販売高	対前年比	伸長率
	万箱	%	%	百万円	%	%
2015年						
2016年						
2017年						
2018年(見込)						
2019年(予測)						
2020年(予測)						

(百万円)

■ 販売高



3. チャンネル別販売規模推移

チャンネル	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
		百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
通信販売									
量販店									
CVS									
ドラッグストア									
その他									
合計									

4. 上位企業シェア推移

1) 企業シェア

企業	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売高 百万円	構成比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %
伊藤園									
サントリー食品インターナショナル									
コカ・コーラシステム									
アサヒ飲料									
キリンビバレッジ									
その他									
合計									

2) ブランドシェア

企業	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売高 百万円	構成比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %
健康ミネラルむぎ茶									
グリーンダカラ やさい麦茶									
胡麻麦茶									
キリン 香ばし麦茶									
アサヒ六条麦茶									
爽健美茶 健康素材の麦茶									
その他									
合計									

5. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

6 . 今後の市場展開

1. 定義

- 日本茶は、PET・缶・紙などの容器にパッケージングされた飲料商品を対象とする。
- 緑茶、ほうじ茶、玄米茶を対象としている。

2. 市場規模推移

年次	販売箱	対前年比	伸長率	販売高	対前年比	伸長率
2015年	万箱	%	%	百万円	%	%
2016年						
2017年						
2018年(見込)						
2019年(予測)						
2020年(予測)						



3. チャネル別販売規模推移

チャネル	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
通 信 販 売 量 販 店 C V S ド ラ ッ グ ス ト ア そ の 他								
合 計								

4. 上位企業シェア推移

1) 企業シェア

企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
伊 藤 園 ポッカサッポロフード&ビバレッジ キリンビバレッジ そ の 他								
合 計								

2) ブランドシェア

企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
お~いお茶 玄米茶 加賀棒ほうじ茶 お~いお茶 日本の健康 玄米茶 生茶 デカフェ そ の 他								
合 計								

5. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

6. 今後の市場展開

1. 定義

- コーヒー系飲料、コーヒー系乳飲料を対象とする。

2. 市場規模推移

年次	販売箱	対前年比	伸長率	販売高	対前年比	伸長率
	万箱	%	%	百万円	%	%
2015年						
2016年						
2017年						
2018年(見込)						
2019年(予測)						
2020年(予測)						



3. チャネル別販売規模推移

チャネル	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
通 信 販 売								
量 販 店								
C V S								
ドラッグストア								
そ の 他								
合 計								

4. 上位企業シェア推移

1) 企業シェア

企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
コカ・コーラシステム								
森永乳業								
ネスレ日本								
UCC上島珈琲								
サントリー食品インターナショナル								
そ の 他								
合 計								

2) ブランド・アイテムシェア

ブランド・アイテム	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
ジョージア やさしいカフェオレ								
マウントレニア カフェラッチェ デカフェ								
ネスカフェゴールドブレンド コffee 赤いコーヒー カフェインレス 無糖								
お・い・し・いカフェインレスコーヒー 無糖								
ビーンズ アンド ロースターズ マイルドラテ								
ジョージア ヨーロピアン デカフェブラック								
ジョージア 厳選素材のデカフェ・オレ								
そ の 他								
合 計								

6. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

7. 今後の市場展開

C . 品目編（嗜好品タイプ）

1

インスタントコーヒー

1. 定義

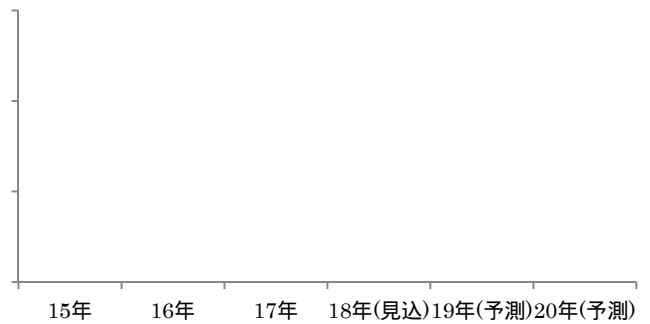
- インスタントコーヒーは、湯に溶かすだけで飲用できるインスタントコーヒーやミルク、砂糖入りのプレミックスタイプの商品を対象とする。
- また、ネスレ日本のレギュラーソリュブルコーヒーは当該市場に含む。

2. 市場規模推移

1) 市場規模推移

年次	販売高	対前年比	伸長率
2015年	百万円	%	%
2016年			
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			
2020年(予測)			

(百万円)



3. 種類別販売規模推移

種類	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
レギュラータイプ		百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
スティックタイプ									
合計									

4. チャネル別販売規模推移

チャネル	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
通 信 販 売 量 販 店 C V S ド ラ ッ グ ス ト ア そ の 他								
合 計								

5. 上位企業シェア推移

企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
ネ ス レ 日 本 U C C 上 島 珈 琲 そ の 他								
合 計								

6. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

7 今後の市場展開

2 レギュラーコーヒー

1. 定義

- コーヒー豆を焙煎したもの、または焙煎後に豆を挽いて粉砕した粉末商品を対象とする。
- レギュラーコーヒーの粉末を含有したインスタントコーヒーやネスレ日本のレギュラーソリュブルコーヒーはインスタントコーヒー市場の対象とし、当該市場には含めない。

2. 市場規模推移

年次	販売高	対前年比	伸長率
	百万円	%	%
2015年			
2016年			
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			
2020年(予測)			



- ①
- ②
- ③
- ④

3. 種類別規模推移

種類	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売額	構成比	販売額	構成比	対前年比	販売額	構成比	対前年比
簡易抽出型 レギュラータイプ		百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
合計									

- ①
- ②

4. チャネル別販売規模推移

年次 チャネル	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
通 信 販 売 量 販 店 C V S ド ラ ッ グ ス ト ア そ の 他 合 計								

①

②

5. 上位企業シェア推移

年次 企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
U C C 上 島 珈 琲 片 岡 物 産 そ の 他 合 計								

①

②

③

6. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

7. 今後の市場展開

①

②

③

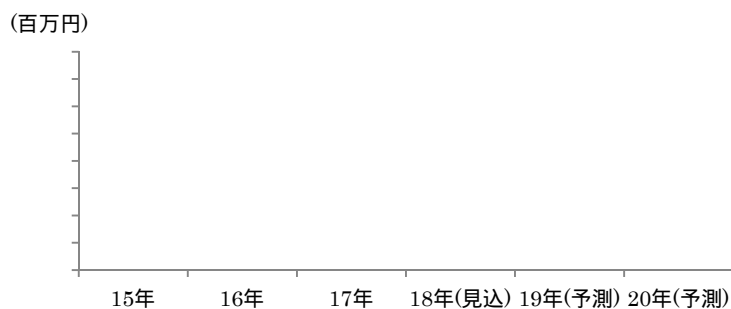
④

1. 定義

- 紅茶のティーバッグ・リーフ・粉末を対象とする。紅茶をベースとしたフレーバーティーは含まれるが、ハーブティーは対象外とする。
- リキッドタイプは「紅茶（リキッドタイプ）」に含み、当市場には含まない。
- 濃縮液（ポーション）は対象外とする。

2. 市場規模推移

年次	販売高	対前年比	伸長率
	百万円	%	%
2015年			
2016年			
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			
2020年(予測)			



3. カテゴリー別販売規模推移

カテゴリー	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売額	構成比	販売額	構成比	対前年比	販売額	構成比	対前年比
		百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
ティーバッグ									
リーフ									
粉末									
合計									

4. チャネル別販売規模推移

チャネル	2017年		2018年（見込）			2019年（予測）		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
通 信 販 売 量 販 店 C V S ド ラ ッ グ ス ト ア そ の 他								
合 計								

5. 上位企業シェア推移

企業	2017年		2018年（見込）			2019年（予測）		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
三 井 農 林 日 本 緑 茶 セ ン タ ー ア サ ヒ グ ル ー プ 食 品 片 岡 物 産 そ の 他								
合 計								

6. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

7. 今後の市場展開

4

緑茶

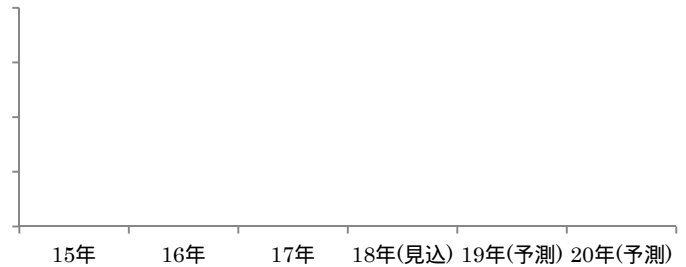
1. 定義

- 緑茶のリーフ、ティーバッグ、粉末の3形態を対象としている。
- 緑茶のリキッドは対象外とする。

2. 市場規模推移

年次	販売高 百万円	対前年比 %	伸長率 %
2015年			
2016年			
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			
2020年(予測)			

(百万円)



3. カテゴリー別販売規模推移

年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売額 百万円	構成比 %	販売額 百万円	構成比 %	対前年比 %	販売額 百万円	構成比 %	対前年比 %
粉								
未								
ティーバッグ								
合計								

4. チャネル別販売規模推移

年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高 百万円	構成比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %
通信販売								
量販店								
CVS								
ドラッグストア								
その他								
合計								

5. 上位企業シェア推移

企業	年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
		販売高 百万円	構成比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %	販売高 百万円	構成比 %	対前年比 %
三井農林 その 合 計									

6. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

7. 今後の市場展望

5

麦茶（嗜好品タイプ）

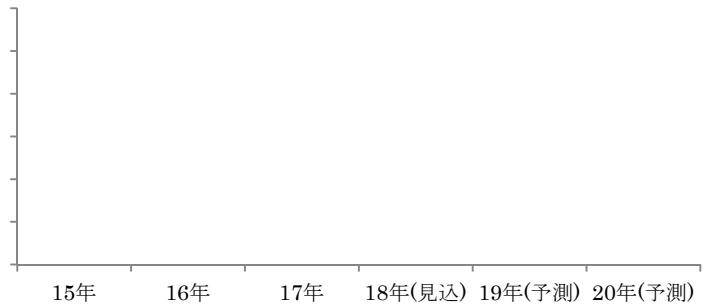
1. 定義

➤ 大麦を殻付きのまま焙煎して加工した商品（ティーバッグ、粉末）を対象とする。

2. 市場規模推移

年次	販売高	対前年比	伸長率
	百万円	%	%
2015年			
2016年			
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			
2020年(予測)			

(百万円)



- ①
- ②
- ③

3. カテゴリー別販売規模推移

年次	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売額	構成比	販売額	構成比	対前年比	販売額	構成比	対前年比
カテゴリー	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
ティーバッグ								
粉末								
合計								

- ①
- ②

4. チャネル別販売規模推移

チャネル	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
通 信 販 売 量 販 店 C V S ド ラ ッ グ ス ト ア そ の 他 合 計								

①

②

③

5. 上位企業シェア推移

企業	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
伊 藤 園 は く ば く そ の 他 合 計								

①

②

③

6. 注目商品及び特徴・販売戦略

商品名	企業名	商品特徴	販売戦略

7. 今後の市場展望

①

②

D．リキッドタイプ・嗜好品タイプ企業事例編

3. 販売動向

年次	デカフェ・カフェインレス・ゼロ実績		
	販売高	対前年比	伸長率
2016年	百万円	%	%
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			

(百万円)



2016年 2017年 2018年(見込) 2019年(予測)

<ブランド別販売動向>

年次 ブランド	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
健康ミネラルむぎ茶								
Relax ジャスミンティー								
お～いお茶								
伝承の健康茶								
ティーズティー								
ヘルシールイボスティー								
その他								
合計								

4. チャンネル別販売動向

チャンネル	年次	2017年		2018年(見込)		
		販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比
		百万円	%	百万円	%	%
通 信 販 売						
量 販 店						
C V S						
ド ラ ッ グ ス ト ア						
そ の 他						
合 計						

5. 販売戦略及び取り組み状況

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

1. 企業概要

企業名	サントリー食品インターナショナル株式会社	電話番号	
所在地		代表者名	
設立		資本金	
売上高	(グループ連結：2017年1月1日～12月31日)	従業員数	(2017年12月31日現在)
事業内容			

2. ブランド及びアイテム展開状況

種	類	商品名	容器・容量	価格(税抜) 円	コンセプト・除去技術

3. 販売動向

年次	デカフェ・カフェインレス・ゼロ実績		
	販売高	対前年比	伸長率
2016年	百万円	%	%
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			

(百万円)



<ブランド別販売動向>

年次 ブランド	2017年		2018年(見込)			2019年(予測)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比	販売高	構成比	対前年比
グリーンダカラ やさい茶 胡麻麦茶 特茶 カフェインゼロ ボス デカフェブラック	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
合計								

4.チャネル別販売動向

年次 チャネル	2017年		2018年(見込)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比
通信販売 量販店 CVS ドラッグストア その他	百万円	%	百万円	%	%
合計					

5. 販売戦略及び取り組み状況

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

4. チャネル別販売動向

年次 チャネル	2017年		2018年(見込)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%
通 信 販 売					
量 販 店					
C V S					
ドラッグストア					
その他					
合 計					

5. 販売戦略及び取り組み状況

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

1. 企業概要

企業名	片岡物産	電話番号	
所在地		代表者名	
設立		資本金	
売上高	(2018年2月)	従業員数	(2018年4月1日現在)
事業内容			

2. ブランド及びアイテム展開状況

種類	商品名	容器・容量	価格(税抜・円)	コンセプト・除去技術

3. 販売動向

年次	デカフェ・カフェインレス・ゼロ実績		
	販売高	対前年比	伸長率
2016年	百万円	%	%
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			

(百万円)



4. チャネル別販売動向

年次 チャネル	2017年		2018年(見込)		
	販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比
	百万円	%	百万円	%	%
通 信 販 売 量 販 店 C V S ド ラ ッ グ ス ト ア そ の 他					
合 計					

5. 販売戦略及び取り組み状況

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

1. 企業概要

企業名	味の素 AGF 株式会社	電話番号	
所在地		代表者名	
設立		資本金	
売上高	(2018年3月)	従業員数	(2018年4月1日現在)
事業内容			

2. ブランド及びアイテム展開状況

種	類	商品名	容量	価格(税抜)	コンセプト・除去技術

3. 販売動向

年次	デカフェ・カフェインレス・ゼロ実績		
	販売高	対前年比	伸長率
2016年	百万円	%	%
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			

(百万円)



4. チャネル別販売動向

チャネル	年次	2017年		2018年(見込)		
		販売高	構成比	販売高	構成比	対前年比
		百万円	%	百万円	%	%
通 信 販 売						
量 販 店						
C V S						
ドラッグストア						
その他						
合 計						

5. 販売戦略及び取り組み状況

.

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

E . コーヒーチェーン企業事例編

5. 販売戦略及び取り組み状況

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

1. 企業概要

企業名	株式会社ドトール・日レスホールディングス	電話番号	
所在地		代表者名	
設立		資本金	
売上高	(連結・2018年2月期)	従業員数	(連結・2018年2月末)
事業内容	<主な業態>		

2. ブランド及びアイテム展開状況

種	類	メニュー名	容量	価格(税抜)	コンセプト・除去技術

3. 販売動向

年次	デカフェ・カフェインレス・ゼロ商品実績		
	販売高	対前年比	伸長率
2016年	百万円	%	%
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			

飲料と物販を含む

(百万円)



5. 販売戦略及び取り組み状況

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

.

3. 販売動向

年次	デカフェ・カフェインレス・ゼロ実績		
	販売実績	対前年比	伸長率
	百万円	%	%
2016年			
2017年			
2018年(見込)			
2019年(予測)			

飲料と物販を含む

(百万円)



5. 販売戦略及び取り組み状況

6. ユーザー開拓及び囲い込み戦略

F．カフェイン除去技術編

1. カフェイン除去技術の種類

使用溶媒処理法		特徴
		<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ●
		<ul style="list-style-type: none"> ● ● ●
		<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ●
		<ul style="list-style-type: none"> ● ●
		<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ●

2. 国内におけるカフェイン除去事例

3. 今後有望なデカフェの分野

1. 企業概要

企業名	超臨界技術センター株式会社	電話番号	
所在地		代表者名	
設立		資本金	
事業内容			

2. 開発背景

3. カフェイン除去技術

【処理工程図】



-
-
-

4. 受託状況

5. 現状の課題と今後の可能性

1. 企業概要

企業名	キリン株式会社	電話番号	
所在地		代表者名	
設立		資本金	
売上高	(キリンホールディングス)	従業員数	(2017年12月31日時点)
事業内容			

2. 開発背景

3. カフェイン除去技術

【除去工程】



4. 受託状況

5. 現状の課題と今後の可能性

デカフェ・カフェインレス（ゼロ）市場の現状と ポテンシャル探索調査 2018

発行日	2018年7月25日
調査・編集	東京マーケティング本部 第二部
P D F 版	300,000円+税
*書籍版はございません。	
発行人	清口 正夫
発行所	株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO 日本橋江戸通 URL : https://www.fuji-keizai.co.jp / E-mail : info@fuji-keizai.co.jp
業務コード	111802737

東京マーケティング本部	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町19-5 akebono日本橋ビル TEL:03-3664-5821(代) FAX:03-3661-9514
大阪マーケティング本部	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-3-11 淀屋橋フレックスタワー TEL:06-6228-2020(代) FAX:06-6228-2030
名古屋支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-24 名古屋桜通ビル TEL:052-684-9250(代) FAX:052-961-4811
中聯富士経済咨询有限公司	100025 中国北京市朝陽区建国路89号 華貿中心4号楼 TEL:86-10-6530-7164 FAX:86-10-6530-7264

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。 ©2018 Fuji Keizai Co.,Ltd.